

ZEHマンション普及への取り組み

国は、「2030年度以降新築される住宅について、ZEH基準の水準の省エネ性能の確保を目指す」との方針を公表しています。

合田工務店は環境に対する取り組みを、「地球環境の保全につとめ、環境に優しい活動」の基本理念のもとに活動しています。

その理念に基づき、ZEHマンションの普及に取り組んでまいります。

合田工務店は、ZEHマンション普及のため自社開発する新築マンションについては、外皮性能の向上と再生可能エネルギーの推進に段階的に取り組み、ZEH-M基準を満たすマンションを可能な限り推進してまいります。

またZEHマンションを計画される建築主、事業主と連携し、ZEH-M基準を満たすマンションの建築に積極的に取り組んでまいります。

集合住宅におけるZEHの定義（ZEH-Mの定義）

- 高層化に伴い、創エネの導入によって集合住宅全体のエネルギー消費量をまかなうことが難しくなっていくことを考慮した定義付けを行っている。



住棟での評価				住戸での評価				住棟での評価における 目指すべき水準
	断熱性能 ※全住戸で 以下を達成	省エネ率 ※共用部を含む住棟全体で 以下を達成			断熱性能 ※当該住戸で 以下を達成	省エネ率 ※当該住戸で 以下を達成		
		再エネ除く	再エネ含む			再エネ除く	再エネ含む	
『ZEH-M』			100%以上	『ZEH』			100%以上	1～3階建
Nearly ZEH-M	強化外皮基準 (ZEH基準)	20%	75%以上 100%未満	Nearly ZEH	強化外皮基準 (ZEH基準)	20%	75%以上 100%未満	
ZEH-M Ready			50%以上 75%未満	ZEH Ready			50%以上 75%未満	
ZEH-M Oriented			再エネの導入 は必要ない	ZEH Oriented			再エネの導入 は必要ない	

出典：環境共創イニシアチブ

「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス実証事業 調査発表会 2021」

ZEH-M普及目標

株式会社合田工務店は、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、集合住宅における省エネルギー性能の向上及びZEH-Mの普及促進に取り組んでいます。

2030年度までのZEH-M普及目標

低層・中層・高層以上の区分を問わず、新築集合住宅におけるZEH-M普及率100%を目標としています。

区分	2030年度目標
低層（1～3階）	100%
中層（4～5階）	100%
高層以上（6階以上）	100%
全体	100%

「目指すべき水準を満たすZEH-M」普及目標

ZEH-Mの普及に加え、より高い省エネルギー性能を有する住棟の導入を推進します。

区分	2030年度目標
低層（1～3階）	10%
中層（4～5階）	10%
高層以上（6階以上）	100%

今後も、断熱性能の向上、高効率設備の採用及び再生可能エネルギーの活用を積極的に提案し、環境負荷の低減と快適な住環境の実現に貢献してまいります。